

## 平成 30 年度 ASEAN 向け省エネ支援事業の最終会合を実施しました

### 【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託を受けて、2019年2月26、27日の2日間、インドネシア・ボゴールにて平成30年度のAJEEP\*最終会合を開催し、ASEAN各国との間で今年度の事業実施内容の結果と課題について討議を行ないました。

- (1) スキーム2（多国間専門家派遣）はエネルギー管理士指導者育成プログラムの3年目を実施し9カ国（フィリピンが欠席）とACEからの受講者11名にASEANトレーナー資格を付与
- (2) スキーム3（法制度整備遅延国支援）は、カンボジア・ラオスを対象に省エネ法制度整備・S&L制度・エネルギー管理制度整備を推進



参加者全員写真



ワークショップ（ホスト国インドネシア）



討議風景



トレーナー資格授与



クロージングスピーチ(ECCJ)

今年度事業の成果の確認、課題の明確化、及び対応策の共有化のための会議（インドネシア・ボゴール）を開催。会議にはASEAN各国ASEAN省エネルギー部会（EE&C-SSN）の各国代表及びACEが参加し、今年度事業を総括しました。

- (1) スキーム2はエネルギー管理士指導者育成事業の3年目を実施。9カ国とACEからの受講者11名にASEANトレーナー資格を付与しました。また、スキーム2終了後の持続的なASEAN管理士育成システムの在り方など、ACEからの提案等に基づき意見交換を行いました。
- (2) スキーム3については、カンボジアは国家省エネ政策の承認、ラオスは省エネ首相令の承認をともに2019年度内に目指すことを確認。両国とも省エネ関連法制度としてのS&L制度規則文案の最終化作業やエネルギー管理制度整備推進体制（産官学 Model Project）の構築着手など、進捗状況をASEAN内で共有しました。
- (3) 日本で受入研修についての報告を実施。今後の方向性として、ASEAN各国での判断基準の整備や民間部門とのビジネスモデル形成などについて活発な意見交換が行われました。

\*AJEEP：ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership

専門家派遣と受入研修を通じてASEAN地域の省エネ人材を育成するプログラム